令和元年度（平成 31 年）　　（一社）愛知県鍼灸師会　公益活動報告

・２０１９スペシャルオリンピックス日本・愛知

第９回ジョギングフェスティバル鍼灸ボランティア活動

・令和元年　あいさいさん祭り（旧愛西市健康祭り）鍼灸ボランティア活動

・令和元年　スペシャルオリンピックス日本・愛知

夏季地区大会鍼灸ボランティア活動

スペシャルオリンピックス日本・愛知２０１９
第９回 ジョギングフェスティバル ボランティア活動報告

■４月２０日（土）スペシャルオリンピックス日本（以下 SON）・愛知が主催する２０１９第９回ジョギングフェスティバルが瑞穂レクリエーション広場を主会場として開催されました。

本会としてもＳＯＮ・愛知からの協力要請を受け、長谷川栄一、児山俊浩、池田達、坪内一正の４名がコンディショニングコーナーの担当として参加しました。

午前１０時の開会式では大村愛知県知事、河村名古屋市長が挨拶を行いました。続いて元名古屋グランパスエイトの選手であった山口素弘氏、元中日ドラゴンズ選手の立浪和義氏、元ボクシング世界王者の畑中清詞氏及び現ＷＢＯ世界王者であり３階級制覇を成し遂げた田中恒星選手によるトークショーがありました。参加者は総数１０００人以上となり、名城大学陸上部のコーチによる指導で準備運動が行われました。その後４５００m、１５００m、７００m部に分かれ、それぞれスタートして行きました。

スタート前に施術を受けた一人を含め施術を受けた方は１０人でしたが、皆さんとても満足しておられました。

私が施術を担当した内２人は全く鍼治療の経験が無い方で、鍼に興味はあるが不安だったためこれまで施術を受けてこなかったとのことでしたが、治療後はそろって「軽くなった」、「こんなに即効性があるとは思わなかった」などと高評価でした。

こうした活動は本会の存在意義を高め、鍼灸のプロモーションにもつながるとても有意義な取り組みであると思いました。

坪内一正

平成 30 年 9 月 23、24 日にわたり開催されたスペシャルオリンピックス日本（以下 SON）夏季ナショナルゲームス愛知大会において、本会が鍼灸ボランティアを行いましたが、その活動が認められ SON 事務局より金銀銅の記念メダルが授与されました。

令和元年10月27日(日)
@愛西市役所周辺

あいさいさん祭り

10月27日（日）、愛西市で「あいさいさん祭り」が開催され、その中の東洋医学コーナーにおいて、7名の先生方と共に鍼灸の体験ブースのお手伝いをいたしました。

お祭りは様々なイベントで盛り上がっており、鍼灸のコーナーにも100名近い方が来訪され体験していただくことが出来ました。

鍼は今回は毫鍼は使用せず、接触鍼、小児鍼やローラー鍼といった刺さない鍼を用いました。小さなお子さんも最初は少し怖がっていましたが、優しく丁寧にやってあげると、気持ちの良いものだと理解し、喜んで受けていました。

お灸は、台座灸や電気温灸器などを用い、ツボや冷えているところを中心に行いました。電気温灸器（セイリン製 セラミック電気温灸器）は備品で貸して頂いたのですが、普段私もあまり使うことがないので、被験者の方と一緒に感動しながらやっていました。

体験に来られる方々の中には、真剣に身体の悩みを持っておられ、痛みや不安に苛まれる日々を過ごされる方もおり、どこで診てもらったらいいのか、鍼灸は効果があるのか、などの相談を受けることもありました。そういった方には時間をかけ丁寧にお話を聞き、近くの鍼灸院を紹介したり、生活の中で出来ることをアドバイスさせていただきました。

鍼灸はまだまだ世間の方々の認知度・受療率はとても低いです。このような場が増え、鍼灸がより多くの人のもっと身近な存在にあれたらと、そのために出来ることはないだろうか、と考えさせられました。また、鍼灸に限らず常日頃からボランティア意識を持って、広い視野で様々な活動に参加していきたいと感じました。

文責　大鐘直幸

令和元年10月27日(日)
@トヨタスポーツセンター

スペシャルオリンピックス日本（SON）・愛知・夏季地区大会

10月27日（日）、児山俊浩先生、牧正明先生及び坪内の3名で、豊田市にあるトヨタスポーツセンターへ、SON・愛知・夏季地区大会に救護ボランティアとして参加してきました。

当日は晴天にも恵まれ、愛知、岐阜、三重、静岡、長野、富山、福井の7県から311名のアスリートが10種目の競技に参加されました。救護所は会場受付のすぐ隣に設置され、医師1名と私達3名で担当しました。

延べ10名の方が救護所を訪れ、テーピング、アイシングなどを受けましたが、テーピングは主に牧先生が担当され、私はアイシングを担当しました。大会実行委員長も階段で足を滑らせ軽い捻挫をされたとのことで、アイシング及びテーピングを受けられました。また鍼治療を希望されたアスリートのご家族の方に対しては、児山先生が対応され、鍼治療を受けられました。競技終了後も気分が悪くなったあるいは嘔吐したとアスリート2名が来所され、医師の指示で休まれましたが、フィジカルアセスメントは私達が担当しました。主催者側からは今回も非常に感謝され、「運営する側としてはとても安心できる」とのお言葉をいただき、私達としても今後も継続していく励みになりました。

今回の大会においても、私達以外にたくさんのボランティアが運営に協力されていて、こうしたイベントが善意のボランティア活動によって支えられていることを実感しました。

文責　坪内　一正

金メダルが授与されました。

「こんなに即効性があるとは思わなかった」などと高評価でした。

参加者は総数１０００人以上となり、名城大学陸上部のコーチによる